

2017年度第1四半期決算説明資料

2017年7月31日

川崎重工業株式会社

目次

I. 2017年度第1四半期連結決算の概要

◇ 2017年度第1四半期決算実績 サマリー	3
◇ 2017年度第1四半期決算実績 セグメント別	4
◇ 前年同期比損益増減要因分析	5
◇ 前年同期比損益計算書の概要	6
◇ セグメント別決算実績	
船舶海洋	7
車両	8
航空宇宙	9
ガスタービン・機械	10
プラント・環境	11
モーターサイクル&エンジン	12
精密機械	13
◇ 貸借対照表の概要	14
◇ キャッシュ・フローの概要	15

II. 2017年度業績見通し

◇ 連結受注高・売上高・利益見通し	16
◇ セグメント別通期業績見通し	17
◇ セグメント別税前ROIC等の推移	18
◇ 研究開発費・設備投資・期末従業員数	19
◇ <参考資料> ヒストリカル・データ	20

第1四半期決算実績 サマリー

(億円)

	2016年度 1Q	2017年度 1Q	増減
受注高	2,586	2,725	+139
売上高	3,398	3,353	▲45
営業利益	159	49	▲110
経常利益	57	54	▲3
親会社株主に帰属する 四半期純利益	47	32	▲15

前年同期比

【受注高】

船舶海洋、精密機械を中心に増加

【売上高】

ガスタービン・機械や精密機械が増収となる一方で、船舶海洋、航空宇宙、プラント・環境が減収となったこと等により、全体では前年同期並み

【利益】

- ・ 営業利益は、航空宇宙、モーターサイクル&エンジン、船舶海洋等の減益により、全体では減益
- ・ 経常利益は、為替差損益の変動の影響で前年同期並み、親会社株主に帰属する四半期純利益は、前期にあった特別利益が無いこと等から減益

売上加重 平均レート	ドル (¥/\$)	110.58	110.75
	ユーロ (¥/EUR)	126.57	121.29

(参考)1Q決算実績における影響外貨量 (億外貨)

ドル	ユーロ
4.8	0.4

第1四半期決算実績 セグメント別

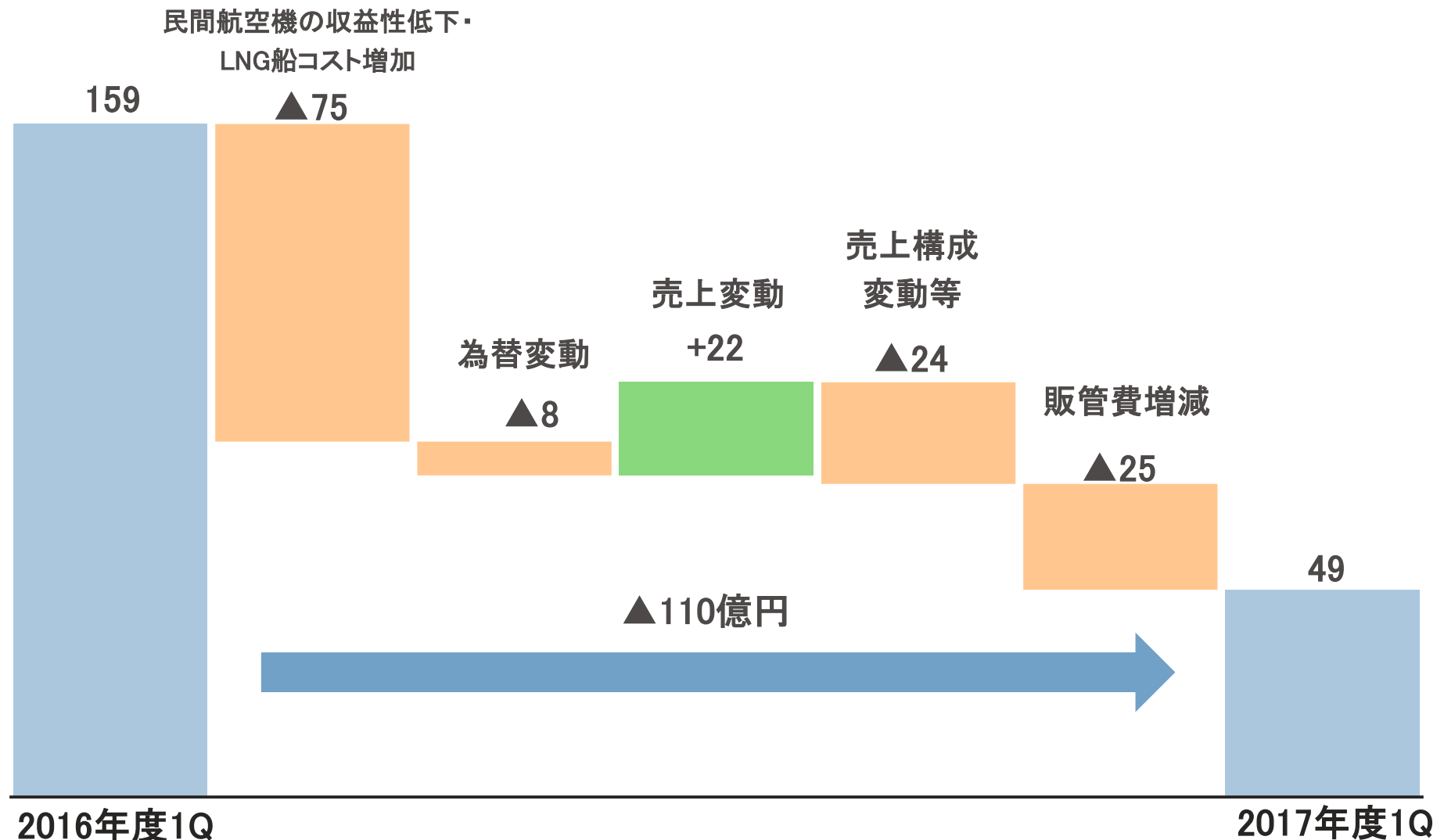
(億円)

	受注高			売上高			営業利益		
	2016年度 1Q	2017年度 1Q	増減	2016年度 1Q	2017年度 1Q	増減	2016年度 1Q	2017年度 1Q	増減
船舶海洋	22	133	+110	311	197	▲114	6	▲28	▲34
車 両	232	111	▲121	288	291	+3	7	▲9	▲16
航空宇宙	416	470	+53	800	733	▲67	95	37	▲57
ガスタービン・機械	506	583	+76	491	605	+114	32	43	+10
プラント・環境	180	151	▲28	317	255	▲62	6	▲6	▲12
モーターサイクル&エンジン	692	677	▲15	692	677	▲15	3	▲33	▲36
精密機械	331	428	+97	329	418	+88	21	45	+24
そ の 他	202	169	▲33	167	174	+6	7	6	▲0
調 整 額*	-	-	-	-	-	-	▲19	▲6	+13
合 計	2,586	2,725	+139	3,398	3,353	▲45	159	49	▲110

* 「調整額」には、本社部門で発生する費用で社内管理上各部門への配賦を行わない費用等を含む

前年同期比損益増減要因分析

【営業利益】 前年同期比 ▲ 110 億円 (2016年度1Q 159 億円 ⇒ 2017年度1Q 49 億円)



前年同期比損益計算書の概要

				2016. 1Q		2017. 1Q	
【営業損益】	前年同期比	▲	110 億円	(159 億円	⇒	49 億円)
・売上高		▲	45 億円	(3,398 億円	⇒	3,353 億円)
・売上原価		+	39 億円	(2,802 億円	⇒	2,841 億円)
・販売費および一般管理費		+	25 億円	(437 億円	⇒	462 億円)
うち給料および手当		+	5 億円	(120 億円	⇒	126 億円)
うち研究開発費		+	0 億円	(94 億円	⇒	94 億円)
【営業外損益】	前年同期比	+	107 億円	(▲ 102 億円	⇒	5 億円)
・金融収支（受取配当金を含む）		+	1 億円	(▲ 4 億円	⇒	▲ 3 億円)
・持分法による投資利益		+	4 億円	(9 億円	⇒	13 億円)
・為替差損益		+	119 億円	(▲ 113 億円	⇒	5 億円)
・その他		▲	17 億円	(6 億円	⇒	▲ 10 億円)
【特別損益】	前年同期比	▲	22 億円	(22 億円	⇒	- 億円)
・固定資産売却益		▲	22 億円	(22 億円	⇒	- 億円)

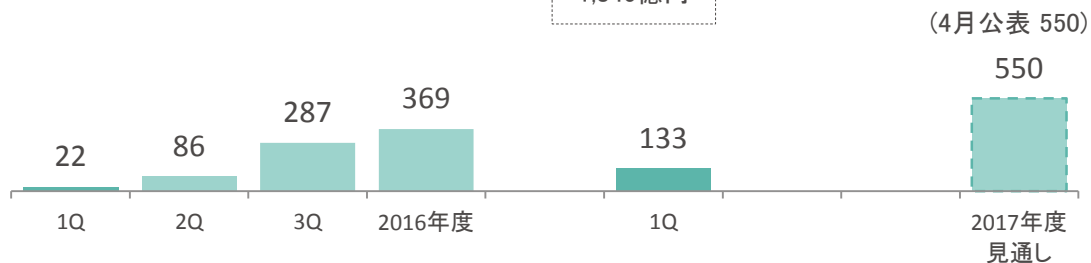
船舶海洋

主要製品：LNG船、LPG船、オフショア船、ばら積み運搬船、潜水艦

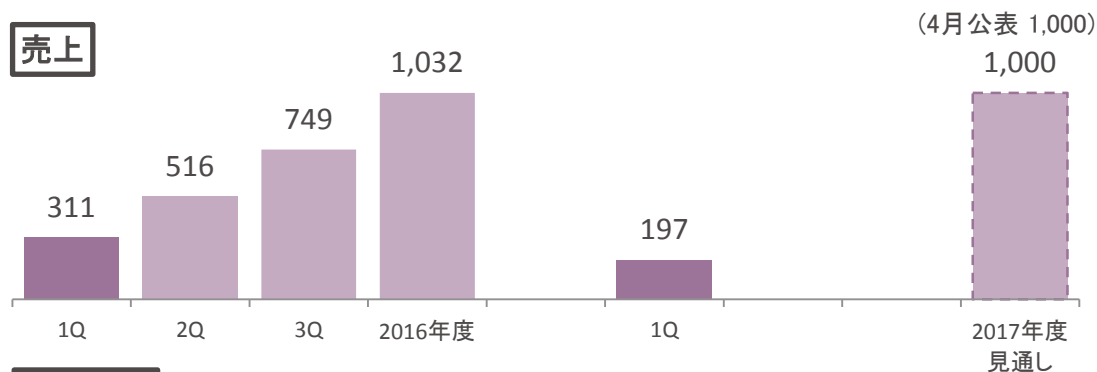
(億円/各期の数値は累計)

受注

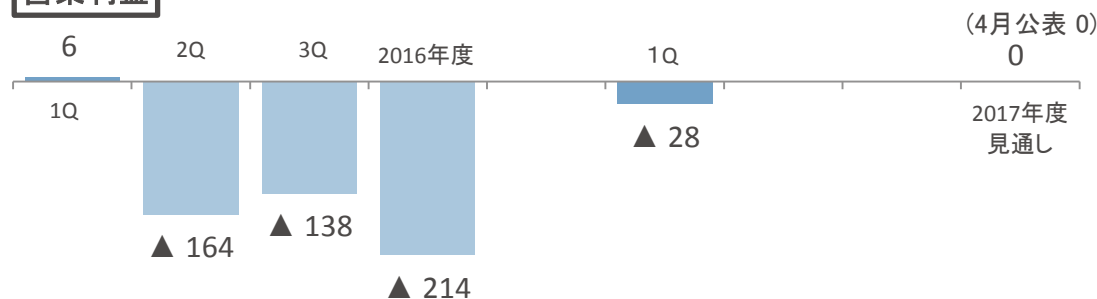
受注残高
1,845億円



売上



営業利益



当第1四半期実績

(前年同期比)

- 受注** LPG運搬船やジェットフォイルの受注により増加
- 売上** 修繕船の工事量減少等により減収
- 営業利益** 減収および建造コストの増加、前年同期に貸倒引当金戻入益があった影響等により損益悪化

2017年度見通し

(前期比)

- 受注** 液化ガス運搬船の受注等により増加
- 売上** 液化ガス運搬船の建造等により前期並み
- 営業利益** オフショア事業における売掛債権への貸倒引当金の追加計上や、受注工事損失引当金の繰入があった前期に比べ改善

<新造船の受注・売上・受注残隻数>

(隻)

	受注		売上 (※)		受注残
	2016年度 1Q	2017年度 1Q	2016年度 1Q	2017年度 1Q	2017年度 1Q
LNG船			9	8	8
LPG船		1	4	6	6
潜水艦			2	2	2
その他		1	2	3	4
合計	0	2	17	19	20

※売上は進行基準を含む

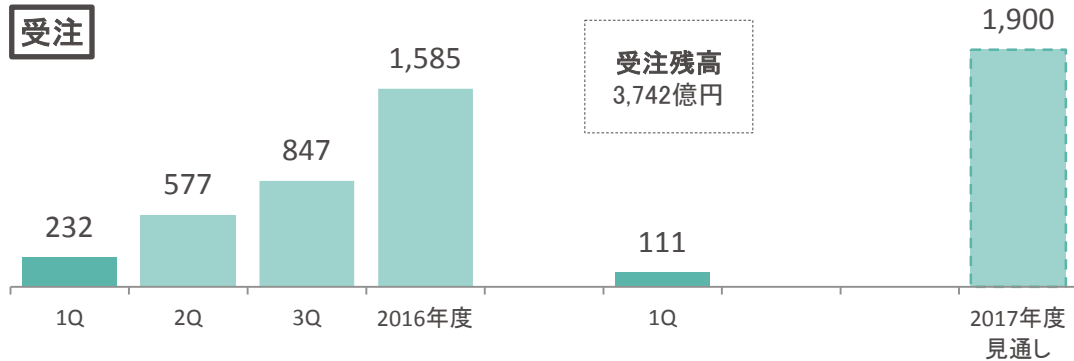
	2015年度 実績	2016年度 実績	2017年度 見通し
税前ROIC	▲38.4%	▲23.4%	0.5%

車 両

主要製品： 各種電車（新幹線含む）、機関車、客車、台車

（億円/各期の数値は累計）

（4月公表 1,900）



受注 東京都交通局向けリニア式地下鉄車両を受注した前年同期に比べ減少

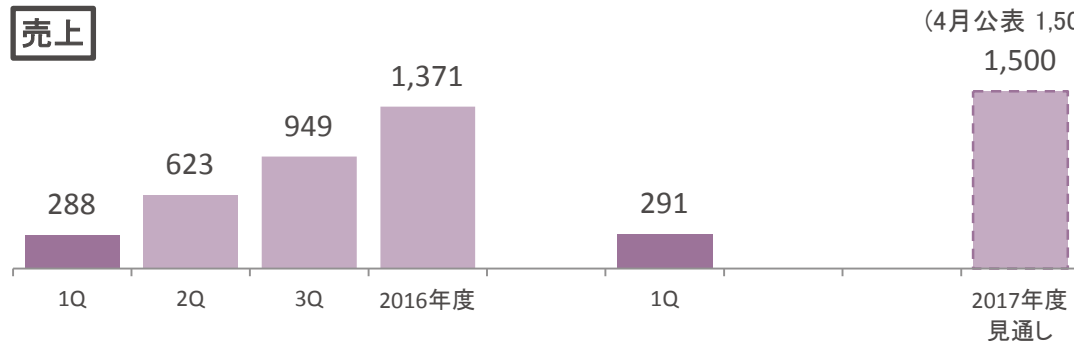
売上 国内向けは増加したものの、シンガポールなどアジア向けの減少等により前年同期並み

営業利益 高採算案件の減少等により損益悪化

当第1四半期実績

（前年同期比）

（4月公表 1,500）



受注 海外向けの増加により増加

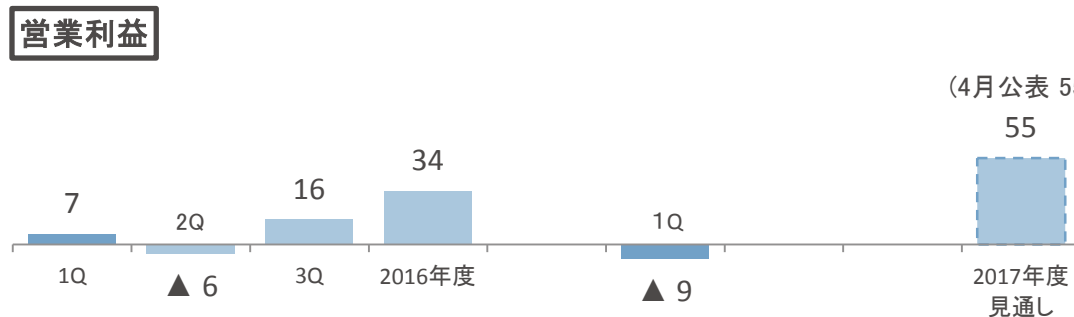
売上 国内向けおよび海外向けの増加により増収

営業利益 増収により増益

2017年度見通し

（前期比）

（4月公表 55）



	2015年度実績	2016年度実績	2017年度見通し
税前ROIC	11.7%	3.0%	6.9%

航空宇宙

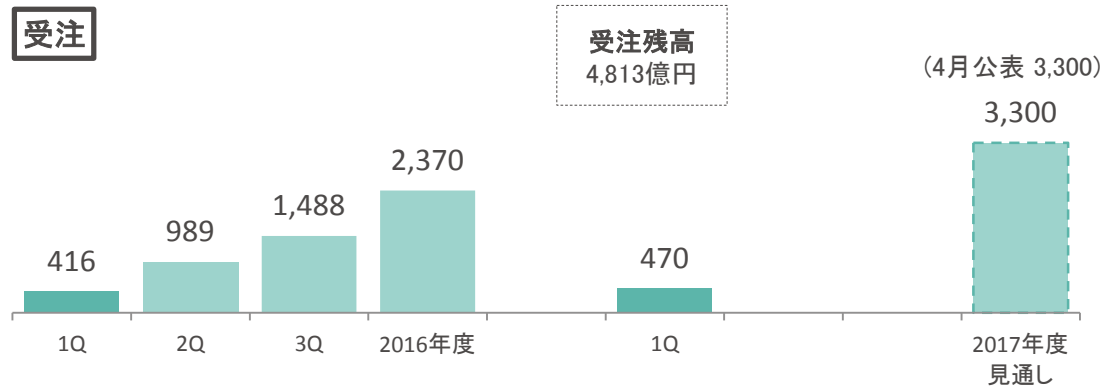
主要製品： 防衛航空機、民需航空機分担製造品、民間向けヘリコプター、誘導機器・宇宙関連機器

(億円/各期の数値は累計)

当第1四半期実績

(前年同期比)

受注



受注 防衛省向けの増加等により増加

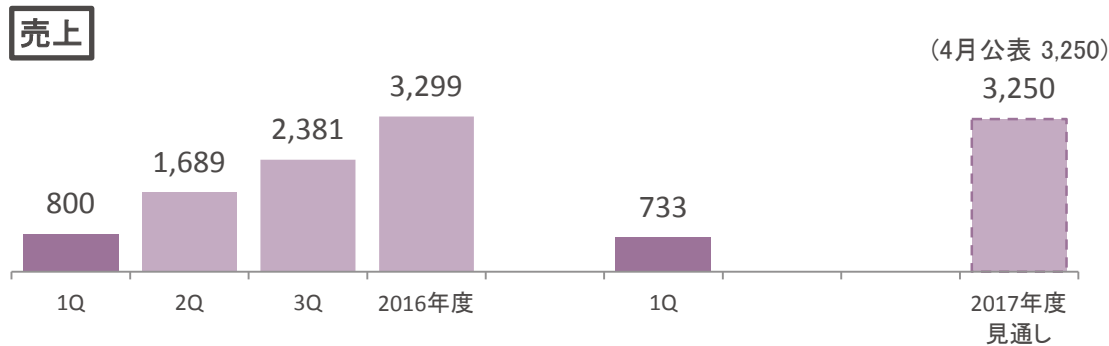
売上 防衛省向けが増加したものの、民間航空機向け分担製造品の減少等により減収

営業利益 減収および民間航空機向け分担製造品の収益性低下等により減益

2017年度見通し

(前期比)

売上

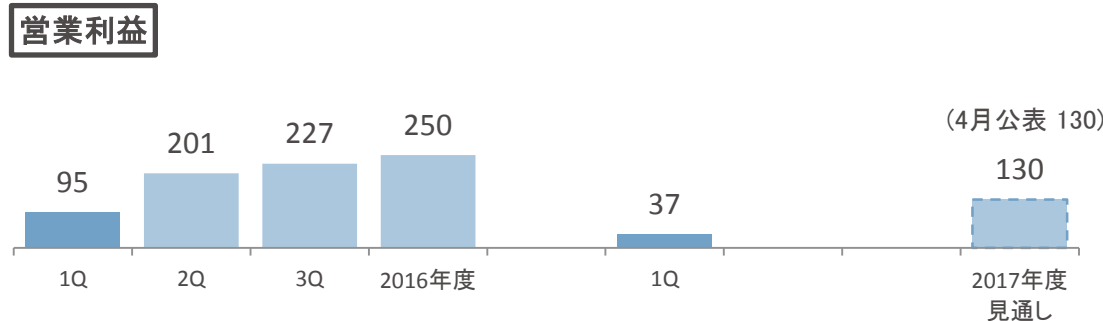


受注 防衛省向けの増加により増加

売上 防衛省向けは増加するものの、民間航空機向け分担製造品の減少により前期並み

営業利益 民間航空機向け分担製造品の減収により減益

営業利益



<民需分担製造品の売上機数> (機)

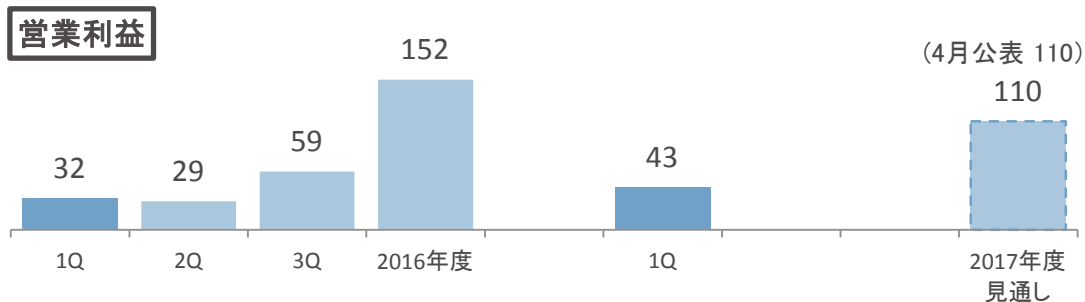
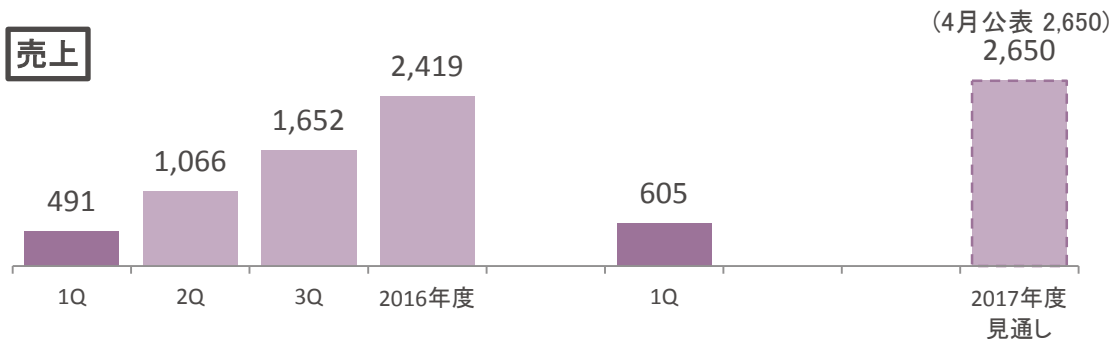
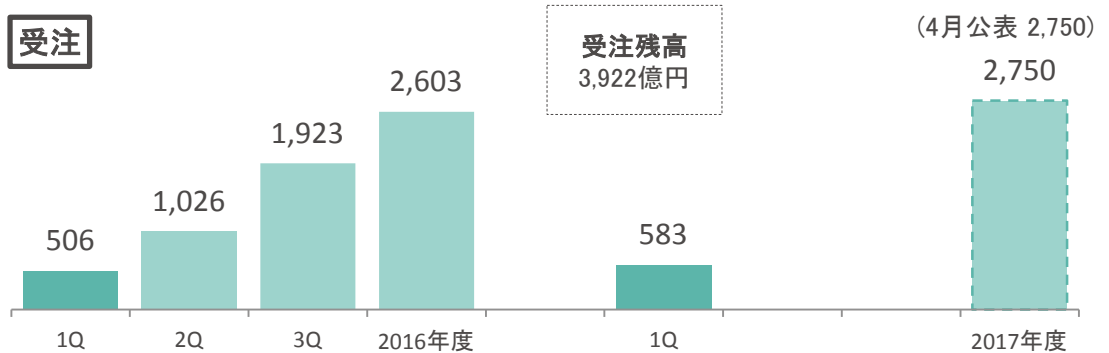
	2016年度1Q	2017年度1Q
Boeing 777	26	18
Boeing 767	6	7
Boeing 787	33	37

	2015年度実績	2016年度実績	2017年度見通し
税前ROIC	33.9%	15.1%	5.5%

ガスタービン・機械

主要製品: 航空機用エンジン、産業用ガスタービン・コージェネレーション、ガスエンジン、ディーゼル機関、陸用・船用タービン、空力・水力機械

(億円/各期の数値は累計)



当第1四半期実績

(前年同期比)

受注 航空エンジン分担製造品の増加等により増加
売上 航空エンジン分担製造品の増加やガスエンジン発電所にかかる工事量増加等により増収
営業利益 増収により増益

2017年度見通し

(前期比)

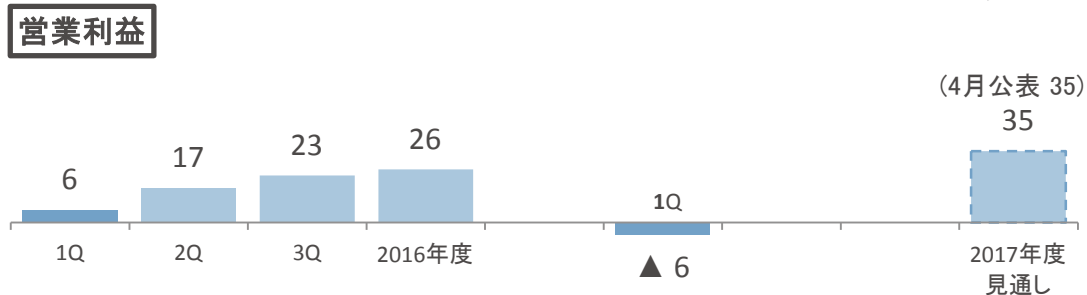
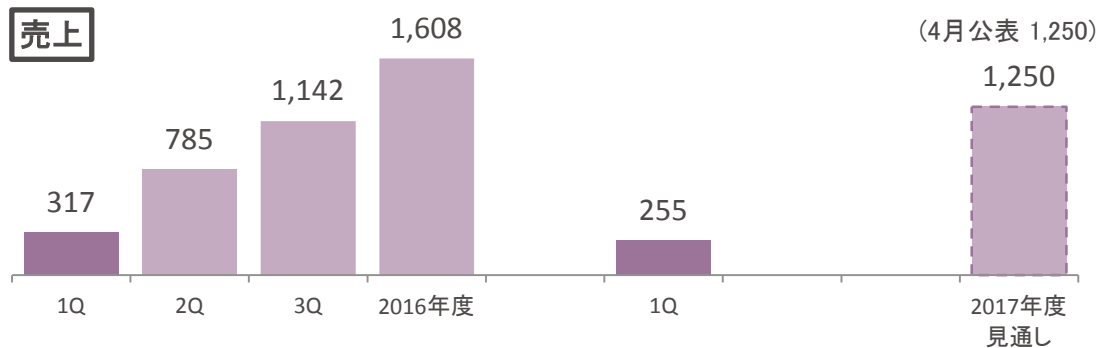
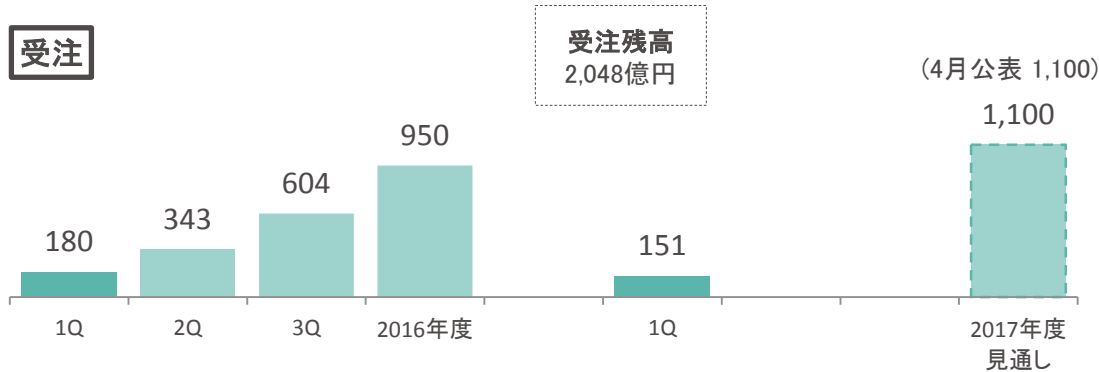
受注 産業用ガスタービンの増加等により増加
売上 航空エンジン分担製造品の増加等により増収
営業利益 航空エンジン分担製造品の新規プログラム開発費の償却負担増加等により減益

	2015年度実績	2016年度実績	2017年度見通し
税前ROIC	8.8%	7.1%	4.9%

プラント・環境

主要製品： 産業プラント(セメント、肥料等)、発電プラント、LNGタンク、
ごみ焼却プラント、トンネル掘削機、破碎機

(億円/各期の数値は累計)



当第1四半期実績

(前年同期比)

受注 国内向けシールド掘進機の受注等があった前年同期に比べ減少

売上 海外向け化学プラントの工事量減少等により減収

営業利益 減収により損益悪化

2017年度見通し

(前期比)

受注 海外向けプラント等の増加により増加

売上 海外向け化学プラントの減少等により減収

営業利益 海外向けLNGタンクで受注工事損失引当金の繰入れがあった前期に比べ損益は改善するものの、減収により前期並み

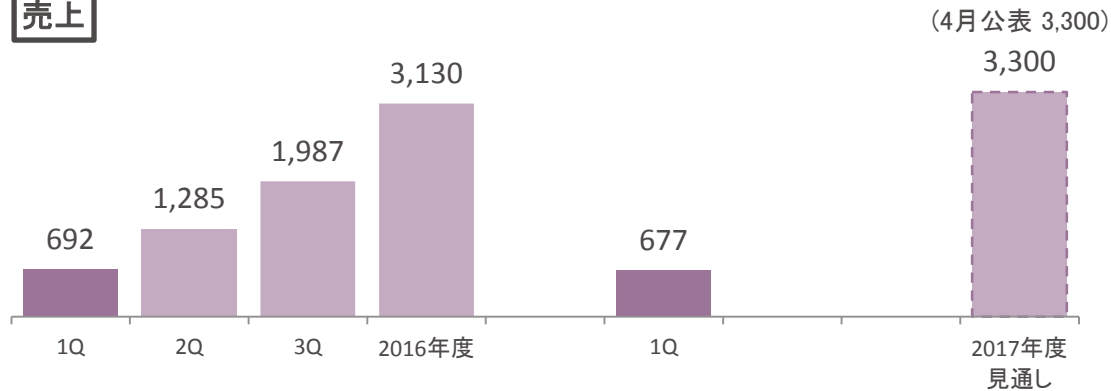
	2015年度実績	2016年度実績	2017年度見通し
税前ROIC	17.5%	8.9%	9.0%

モーターサイクル&エンジン

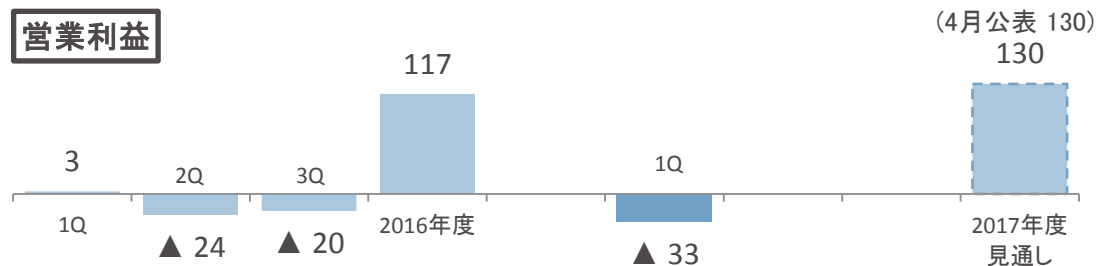
主要製品： 二輪車、多用途四輪車、四輪バギー車(ATV)、
パーソナルウォータークラフト(PWC)、汎用エンジン

(億円/各期の数値は累計)

売上



営業利益



<製品別売上(卸売)台数・金額>

(千台、億円)

	2016年度1Q 実績		2017年度1Q 実績	
	台数	金額	台数	金額
先進国二輪車	34	246	34	262
新興国二輪車	69	190	68	166
四輪車・PWC	15	157	11	123
汎用エンジン		99		126
合計	118	692	113	677

当第1四半期実績

(前年同期比)

売上

先進国向け二輪車や汎用エンジンが増加したものの、新興国向け二輪車や先進国向け四輪車の減少により減収

営業利益

減収およびモデルミックスの変動等により損益悪化

2017年度見通し

(前期比)

売上

先進国向け二輪車・四輪車の増加および新興国向け二輪車の回復等により増収

営業利益

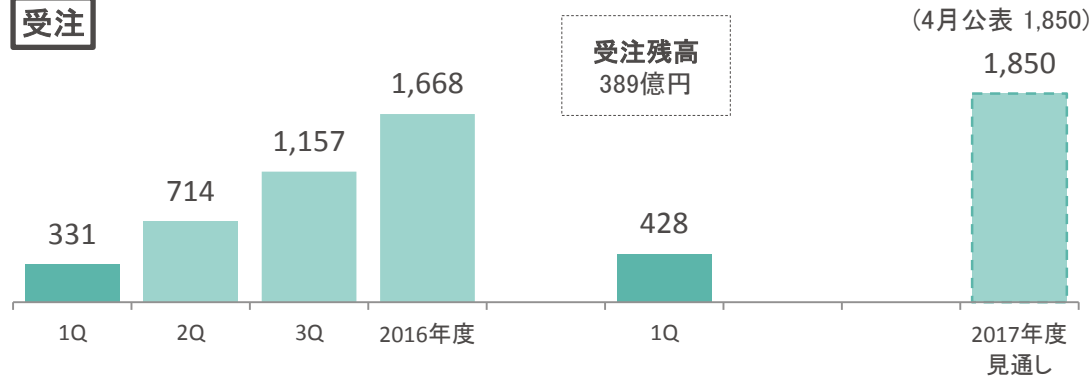
増収により増益

	2015年度 実績	2016年度 実績	2017年度 見通し
税前ROIC	14.1%	7.3%	9.5%

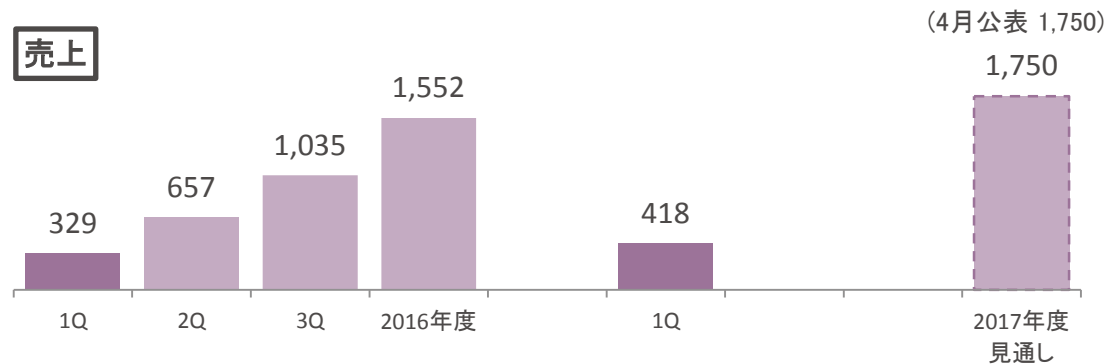
精密機械

主要製品： 建設機械用油圧機器、産業機械用油圧機器・装置
 船用舵取機、船用各種甲板機械、産業用ロボット、医薬・医療ロボット
 (億円/各期の数値は累計)

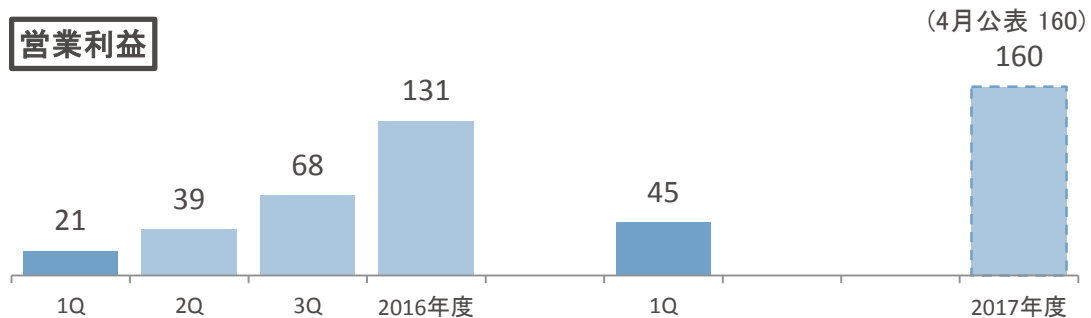
受注



売上



営業利益



当第1四半期実績

(前年同期比)

- 受注** 建設機械市場向け油圧機器の増加により増加
- 売上** 建設機械市場向け油圧機器や各種ロボットの増加等により増収
- 営業利益** 増収により増益

2017年度見通し

(前期比)

- 受注・売上** 建設機械市場向け油圧機器や各種ロボットの増加等により増収
- 営業利益** 増収により増益

	2015年度実績	2016年度実績	2017年度見通し
税前ROIC	9.5%	13.4%	15.8%

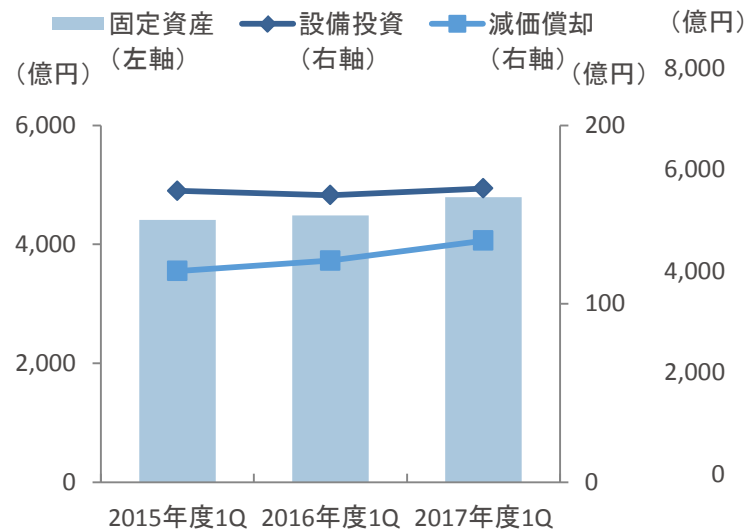
貸借対照表の概要

(億円)

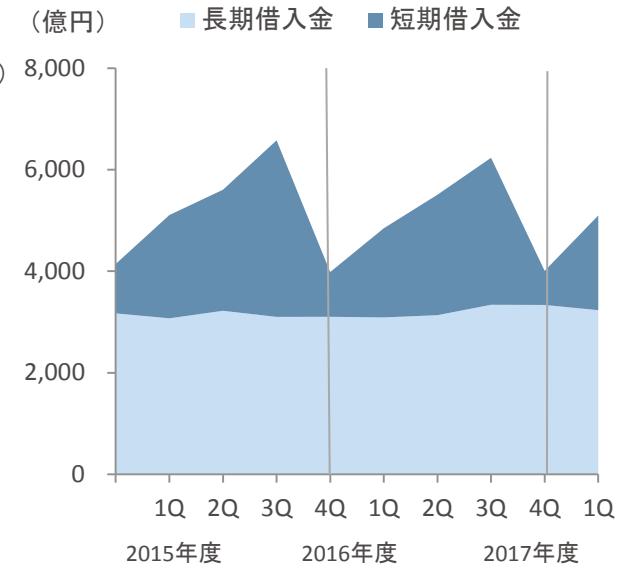
	2016年度末	2017年度 1Q末	増減
現預金	553	482	▲71
売掛債権	4,446	4,457	+11
棚卸資産	4,848	5,043	+195
有形・無形固定資産	4,771	4,794	+22
その他資産	2,253	2,541	+288
資産計	16,873	17,319	+446
買掛債務	3,420	3,091	▲329
借入債務	4,006	5,098	+1,091
前受金	2,058	1,923	▲134
その他負債	2,874	2,698	▲175
負債計	12,360	12,812	+451
株主資本	4,462	4,461	▲0
その他純資産	50	45	▲5
純資産計	4,513	4,507	▲5
負債・純資産計	16,873	17,319	+446

自己資本比率	25.9%	25.2%
NET D/Eレシオ	78.9%	105.7%

【設備投資等の推移】



【有利子負債の推移】



【貸借対照表の概況】

当四半期末の総資産は、棚卸資産や前渡金の増加等により、前期末に比べ増加。負債は、買掛債務の減少があるものの、借入債務の増加等により増加。純資産は、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上による増加はあるものの、配当金の支払による減少等により、ほぼ前期末並み。

キャッシュ・フローの概要

(億円)

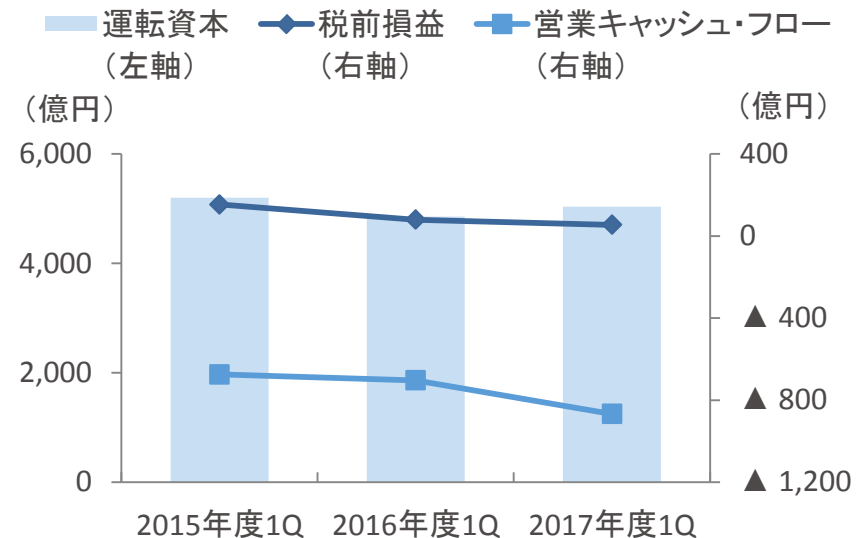
	2016年度 1Q累計	2017年度 1Q累計	増減
営業キャッシュ・フロー	▲703	▲866	▲163
投資キャッシュ・フロー	▲130	▲275	▲145
フリーキャッシュ・フロー	▲833	▲1,142	▲309
財務キャッシュ・フロー	784	1,056	272

【キャッシュ・フローの概況】

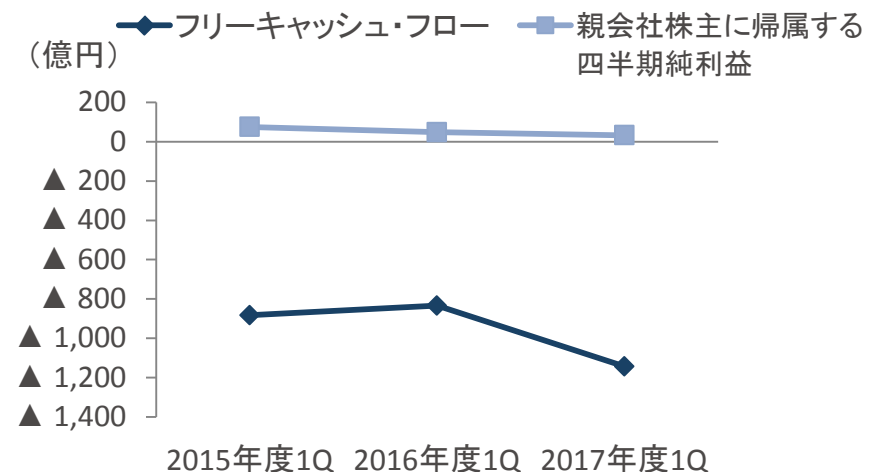
営業キャッシュ・フローは、運転資本の増加等により、前年同期に比べ悪化。

投資キャッシュ・フローは、設備投資の支払が集中したことに加え、前年同期は固定資産売却による収入があったこと等により悪化。この結果、フリーキャッシュ・フローは前年同期に比べ悪化。

【営業キャッシュ・フロー等の推移】



【フリーキャッシュ・フローと親会社株主に帰属する四半期純利益の推移】



連結受注高・売上高・利益見通し

(億円) ※2017年4月27日公表値からの変更はありません。

	2016年度 実績	2017年度 見通し	増減
受注高	13,487	15,600	+2,113
売上高	15,188	15,550	+362
営業利益	459	580	+121
経常利益	366	515	+149
親会社株主に帰属する 当期純利益	262	360	+98
税前ROIC	5.0%	6.0%	+1.0%
ROE	6.0%	8.0%	+2.0%
配当(1株あたり)	6円	6円	

前期比

【受注高】

国内・海外向け車両や、航空宇宙の防衛省向けの増加等により増加の見込み

【売上高】

プラント・環境の減少はあるものの、ガスタービン・機械や精密機械の増収等により全体では増収の見込み

【利益】

航空宇宙の減益の影響はあるものの、前期にオフショア事業で多額の損失を計上した船舶海洋の回復等により増益の見込み

【税前ROIC・ROE】

営業利益の増益に伴い、上昇の見込み

実績/前提 レート	ドル (¥/\$)	108.98	108
	ユーロ (¥/EUR)	120.24	114

(参考) 為替影響額

1円の変動による影響額 (億円)

	営業利益	経常利益
ドル	15.7	15.8
ユーロ	1.4	2.0

注) 前提レートは見通し公表時の為替エクスポージャーに対して適用

セグメント別通期業績見通し

※2017年4月27日公表値からの変更はありません。

(億円)

	受注高			売上高			営業利益		
	2016年度 実績	2017年度 見通し	増減	2016年度 実績	2017年度 見通し	増減	2016年度 実績	2017年度 見通し	増減
船舶海洋	369	550	+181	1,032	1,000	▲32	▲214	0	+214
車 両	1,585	1,900	+315	1,371	1,500	+129	34	55	+21
航空宇宙	2,370	3,300	+930	3,299	3,250	▲49	250	130	▲120
ガスタービン・機械	2,603	2,750	+147	2,419	2,650	+231	152	110	▲42
プラント・環境	950	1,100	+150	1,608	1,250	▲358	26	35	+9
モーターサイクル&エンジン	3,130	3,300	+170	3,130	3,300	+170	117	130	+13
精密機械	1,668	1,850	+182	1,552	1,750	+198	131	160	+29
そ の 他	809	850	+41	774	850	+76	31	40	+9
調 整 額※	-	-	-	-	-	-	▲70	▲80	▲10
合 計	13,487	15,600	+2,113	15,188	15,550	+362	459	580	+121

※ 「調整額」には、本社部門で発生する費用で社内管理上各部門への配賦を行わない費用等を含む

セグメント別税前ROIC等の推移

※2017年4月27日公表値からの変更はありません。

	税前ROIC ((税引前利益+支払利息)/投下資本)		
	2016年度 実績	2017年度 見通し	増減
船舶海洋	▲23.4%	0.5%	+23.9%
車 両	3.0%	6.9%	+3.9%
航空宇宙	15.1%	5.5%	▲9.6%
ガスタービン・ 機械	7.1%	4.9%	▲2.2%
プラント・環境	8.9%	9.0%	+0.1%
モーターサイクル& エンジン	7.3%	9.5%	+2.2%
精密機械	13.4%	15.8%	+2.4%
合 計	5.0%	6.0%	+1.0%

営業利益率 (営業利益/売上高)			総資産回転率(倍) (売上高/総資産)		
2016年度 実績	2017年度 見通し	増減	2016年度 実績	2017年度 見通し	増減
▲20.7%	0.0%	+20.7%	0.61	0.57	▲0.04
2.5%	3.6%	+1.1%	0.83	0.88	+0.05
7.5%	4.0%	▲3.5%	0.76	0.74	▲0.02
6.3%	4.1%	▲2.2%	0.69	0.72	+0.03
1.6%	2.8%	+1.2%	1.35	1.02	▲0.33
3.7%	3.9%	+0.2%	1.28	1.37	+0.09
8.4%	9.1%	+0.7%	0.98	1.06	+0.08
3.0%	3.7%	+0.7%	0.88	0.89	+0.01

研究開発費・設備投資・期末従業員数

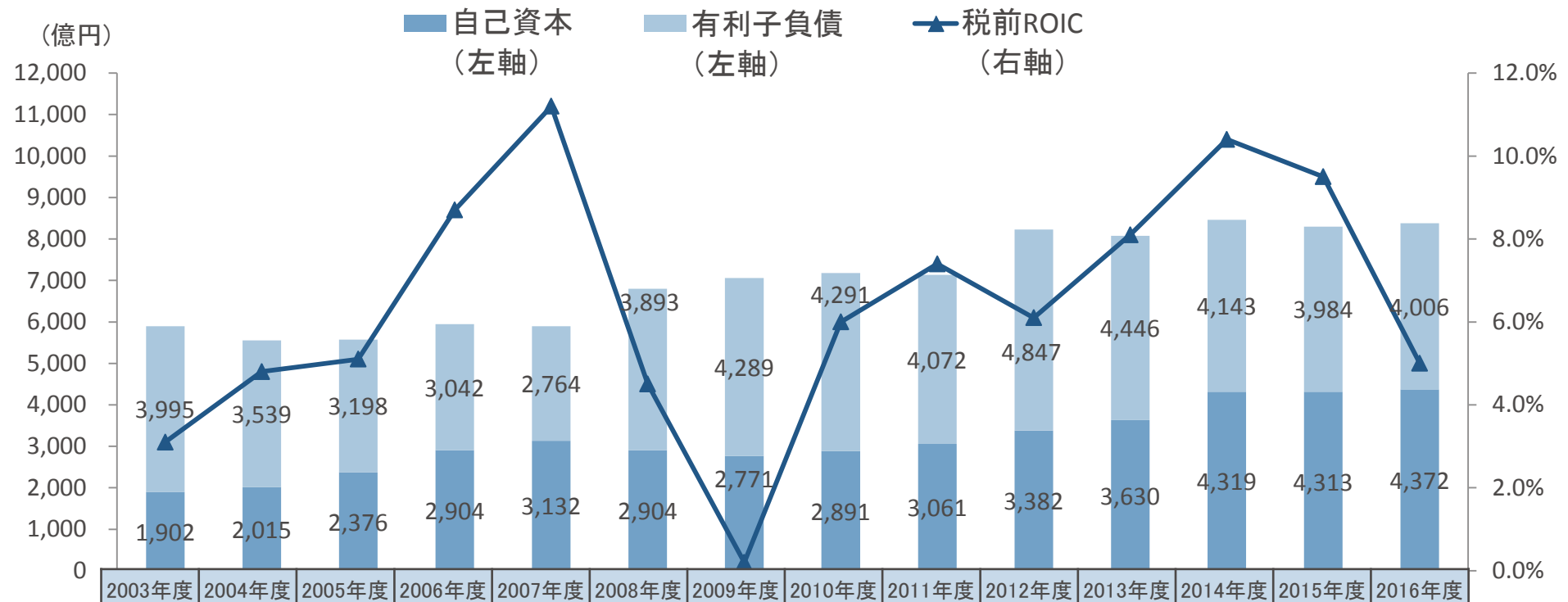
※2017年4月27日公表値からの変更はありません。

(億円・人)

		2015年度 実績	2016年度 実績	2017年度 見通し
研究開発費		436	436	480
設備投資		763	827	990
減価償却費		490	515	530
	国内	25,897	26,348	27,300
	海外	8,708	8,779	9,100
期末従業員数		34,605	35,127	36,400

※ 設備投資額は有形・無形固定資産の新規計上額、減価償却費は有形・無形固定資産の減価償却実施額

ヒストリカル・データ



	2003年度	2004年度	2005年度	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度
税前ROIC	3.1%	4.8%	5.1%	8.7%	11.2%	4.5%	0.2%	6.0%	7.4%	6.1%	8.1%	10.4%	9.4%	5.0%
投下資本	5,896	5,553	5,573	5,946	5,896	6,797	7,059	7,182	7,132	8,228	8,076	8,463	8,297	8,379
売上高	11,602	12,415	13,224	14,386	15,010	13,385	11,734	12,269	13,037	12,888	13,854	14,861	15,410	15,188
営業利益	222	247	417	691	769	287	▲13	426	574	420	723	872	959	459
経常利益	121	210	308	490	639	387	142	491	636	393	606	842	932	366
親会社株主に帰属する当期純利益*	63	114	164	297	351	117	▲108	259	233	308	386	516	460	262

※ 2014年度までは「当期純利益」

為替レート 円/\$	113	108	112	117	115	101	93	86	79	82	99	109	118	108
------------	-----	-----	-----	-----	-----	-----	----	----	----	----	----	-----	-----	-----

世界の人々の豊かな生活と地球環境の未来に貢献する “Global Kawasaki”

ご注意

本資料のうち、業務見通し等に記載されている将来の数値は、現時点で把握可能な情報に基づき当社が判断した見通しであり、リスクや不確実性を含んでおります。従いまして、これらの業績見通しのみを依拠して投資判断を下すことはお控え下さるようお願い致します。実際の業績は、外部環境及び内部環境の変化によるさまざまな重要な要素により、これらの見通しとは大きく異なる結果となり得ることを御承知おき下さい。実際の業績に影響を与える重要な要素には、当社の事業領域をとりまく経済情勢、対米ドルをはじめとする円の為替レート、税制や諸制度などがあります。